



## 女子ラグビー部

全国高等学校選抜女子セブンス  
ラグビーフットボール大会四連覇達成



第2回～第5回のセブンス4連覇

昨年度の実績

- ・第6回全国高校選抜女子セブンスラグビーフットボール大会 3位
- ・KOBELCO CUP 2017 第7回全国高校女子合同大会  
本校女子ラグビー部員が中国ブロックチームとして出場、2位
- ・女子ラグビーアジアラグビーセブンスシリーズ2017スリランカ大会・  
第3回ユースオリンピック競技大会アジア予選  
原わか花(3年)選出!!

### 指導者VOICE



女子ラグビー部監督 磯谷 竜也

2011年に創部された本校女子ラグビー部は、部員5名からのスタートでした。創部7年目を迎えた今年、部員数は過去最多の46名となりました。地元・島根県から、遠くは青森県まで、全国各地から生徒が集まり、ほぼ全員が寮で共同生活を送りながら、日々成長しています。部員数の増加に伴い、部員同士の競争意識もいっそう高まっていることが、互いの良い刺激となっているのでしょう。こうした各自の成長が、全国大会優勝、日本代表選出につながっていることは、かつての卒業生が証明しています。本校女子ラグビー部に入学を考えている皆様、過去の実績は全くの無関係です。「習字館でラグビーをやってみよう!!」その熱意のみが入学条件です。後々とともに、最高の3年間を作り上げましょう。

### 在校生VOICE



女子ラグビー部(1年生) 芳山 彩未 高松市立第一中学校出身

私は高校で中学生の時よりもっと本格的にラグビーをやりたいと思い、石見習志館高校への進学を決めました。ここには寮があるため、他の高校より自分の好きなラグビーをする時間が多くあります。練習でプレーを習い、さらに体力・筋力もつけられる。ラグビーによって大変いい環境です。寮元を離れての寮生活は不安でも楽しみでもありました。寮に入ると今まで観ていたことを全て自分でやらなければならず、しかもそれが毎日となると大変ですが、ラグビー以外の部分でも成長できます。こうした同じ環境で過ごしている仲間と、一つの目標に向かって毎日練習に励み、時には辛いことや厳しいこともたくさんありますが、その目標を達成した時の喜びはものすごく大きいのだと思います。石見習志館高校に入ったら、間違いないくらい充実した3年間が待っています。それは、過去の先輩たちが証明していることでもあります。私たちと一緒に目標に向かって最高の3年間をしましょう。



## 男子ラグビー部

トップラグーマンを輩出する  
花園常連校の底力



第13回 選抜準優勝 / 第92回 ベスト8 / 第95回 ベスト4 / 第96回 ベスト8

昨年度の実績

- ・平成29年度鳥取県高等学校総合体育大会【ラグビー7人制】優勝(全国大会出場)
- ・第72回国民体育大会中国ブロック大会優勝(本大会出場決定)
- ・第72回国民体育大会(愛媛)3位
- ・第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会鳥取県予選優勝
- ・第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会ベスト16
- ・全国高等学校選抜大会中国ブロック予選準優勝

### 指導者VOICE

男子ラグビー部監督 2011-2012 U17 日本代表監督

安藤 哲治

我々スタッフも選手と共に考え、私生活からグラウンドまで一緒に活動しています。ほとんどの生徒が大学、企業でラグビーを続け各チームのリーダーとして活躍しています。近年、各レベルで日本代表に選出される生徒も増えてきました。本校で全国制覇を目指し、将来の日本代表を夢見る中学生!是非一緒にラグビーをしましょう。



### 在校生VOICE

男子ラグビー部(1年生) 西岡 昂 吹田市立第六中学校出身

私が石見習志館高校ラグビー部に入学した理由は、より高いレベルでラグビーをするため、そしてラグビーと学業を両立させるためです。しかし、高いレベルでラグビーをするということは、練習も厳しくなり、数多くの難関が課せられます。それと同時に学業も一生懸命行うことは簡単なことではありません。気持ちが続くと、先生方に厳しく指導もされることもあります。それは全て、私たちのことを考えてのことです。同時に、あいさつや掃除、礼儀など、人として当たり前のことが大切にされています。こうしたことを、時に厳しく、時に優しく、徹底的に指導してくださるのが、石見習志館高校です。石見習志館高校には、後悔しない3年間が待っている、そう確信しています。私たちと一緒に、最高の高校生活を存り上げましょう。

